

▲花洛名勝図会 東山之部から

大文字送り火

送り火は、精霊が帰る浄土への道を照らすために焚かれます。その起源に関しては諸説があり、はっきりとはしていませんが、室町時代以後に年中行事として定着したものと考えられています。

この絵に描かれている三本木という場所は、頼山陽が住んでいた「山紫水明処」の近くです。左上には、その頼山陽の影響を受けた四条派の画人で詩人でもあった小田海僊の漢詩と、芭蕉風俳諧の中興とされる成田蒼虬の句が記されています。

河原で送り火を焚く人や着流しの侍、子どもと見物に訪れる母子などが描かれ、今も昔も変わらぬ賑わいをうかがい知ることができます。

	「大文字送り火」(花洛名勝図会 東山之部から)	1
目次	文献課の窓から「京都府の歩みを数字でたどるには京都府統計書の移り変わり」.....	2
	レファレンスから.....	4
	歴史資料課の窓から「吉井勇資料 勇と『紅聲窩』」.....	5
	最近の収集資料から.....	6
	展覧会開催のお知らせ ほか.....	7
	友の会事務局から ほか.....	8

京都府の歩みを数字でたどるには ～ 京都府統計書の移り変わり～

京都府が明治以降現在まで継続して発行している行政資料の主なものは、府治要覧・統計書（明治6年～）、公報（明治31年～）、府議会会議録（明治12年～）、職員録（明治元年～）などです。

この中で京都府の歩みを計数的に把握することのできる『府治要覧・統計書』の所蔵状況についてご紹介します。

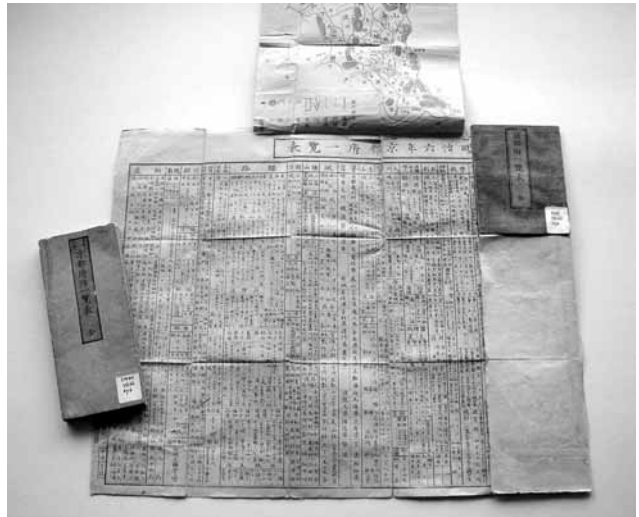
京都府は、全国にさきがけて、慶応4（1868）年閏4月29日（新暦6月19日）に設置されました。京都府域は、当初、山城国と丹波国（一部を除く）でしたが、明治9年の府県統廃合により、丹後国及び丹波国天田郡を併合し、現在の区域になりました。

府治要覧

当館で所蔵している一番古いものは、『明治六年京都府一覧表』（明治6年刊）です。1枚もの（36×53cm、折りたたみ9×12cm）で、上部に小さな京都府の地域図が貼付されており、宮殿禁裏、御所に始まり官庁・区画・歳入・歳出・従他寄留・戸籍・職分・職員・学校・神社などから郵便役庁・囚獄・物産に至る項目が右から左に順次縦書きで書かれています。

次に古いものは、『明治九年京都府治一覧表』（折本18×8cm）で、広げるとその長さは5m近くになります。掲載されている項目は、明治6年のものとほぼ同じです。これは総括的な統計資料で、京都府として編さん・発行された初めてのものといえます。この統計表が後に簡易で見やすい『府治要覧』になっていきます。

昭和14年から数年にわたっては表紙に「防諜注意」と印刷されていたり、当館所蔵の『昭和17年府治要覧』（昭和20年6月刊）には、何ページにもわたって赤鉛筆で大きくバツ印がしてあり、当時の時代背景を反映しています。また終戦直前の昭和20年6月に昭和17年・18年分が同



▲『明治六年京都府一覧表』、『明治九年京都府治一覧表』（左）

時に発行され、終戦後は混乱の中でありながらも、昭和22年3月に、昭和19年度分が発行されています。

『府治要覧』は、現在発行されている『統計でみる府民の暮らし』になるまで、『京都府一覧表』、『京都府治一覧表』、『府治一覧表』、『府一覧概要』などとタイトルを10回も変え、形態も1枚ものから折本、そして冊子体へと変化しています。

京都府統計書

一番古いものは『明治十二年府治要覧』で、先に紹介した『府治要覧』とタイトルは同じですが、高さ27cm、121ページと形態も違い、内容も詳しく記述されています。京都府の薄葉紙に毛筆による手書きです。奥付けには明治十二年十月出版同年十一月刻成とあります。

翌明治13年のタイトルは『京都府統計表』（明治15年刊京都府調査掛編）となっており、和紙に印刷されています。項目も、地理・官事・学事・衛生・賞^{しょう}励^{れい}賑^{にん}恤^{じゆん}・農事・工事・商事・物産・価値・財産・諸税・会計・雑に分かれており、197丁の体裁です。『京都府統計書』のタイトルは当館所蔵分では明治20年のものから使われ

ています。

しかし、明治27年から明治35年までは『京都府統計書』の発行はなく、その間は『京都府勸業統計報告』が発行されています。やがて明治36年に『京都府統計書』として復活しました。

明治時代の統計書は縦書きで、統計数字が漢字で書かれています。現在のような横書きで左綴じの体裁になるのは、大正4年（大正6年発行）からであり、現代の私たちに数字が大変見やすく感じられます。

最新のもの『京都府統計書 平成14年』で、京都府産業や府民生活に直接関係する項目が、1章 土地・気象から21章 都道府県の現勢までA4サイズ・386ページにわたって掲載されています。さらに詳しい統計資料が必要である場合は、それぞれの分野毎の統計書や、京都府のホームページ（<http://www.pref.kyoto.jp/>）「おこしやす京都・京都府データBOX」からも見ていただくことができます。

昭和38年の当館開館時には、京都府立図書館から約20万冊の図書が移管されましたが、その中に統計書もたくさん入っていたと思われまます。統計書・年報類は継続して収集する必要があります。そこで欠号分は古書店で購入したり、京都府、京都府立医科大学中央図書館、京都府何鹿郡役所等から寄贈を受けて補充したことが、資料に押されている蔵書印から推察することができます。また、それでも補充しきれない場合は、他所の所蔵資料を複写させてもらって、製本している場合も多々ありますが、複製物では、紙質、印刷状態、形態、内容が正確に伝わらないこともあります。このため当館では、欠号を出さずに収集するよう日々努力しています。

最後に、昭和43(1968)年の京都府開庁百年の記念事業のひとつとして当館が編集した『京都府統計史料集一百年の統計—第1巻～第4巻』（昭和44～46年刊）をご紹介します。約35年前に出版されたものですが、昭和40年代前半まで

京都府府治要覧・統計書等所蔵一覧

年次	統計書	府治要覧	勸業統計	年次	統計書	府治要覧	勸業統計
1873 (明6)		○		1899 (明32)	発	○	○
1874 (7)				1900 (33)	行	○	○
1875 (8)				1901 (34)	な	○	○
1876 (9)		○		1902 (35)	し	○	○
1877 (10)		○		1903 (36)	○		
1878 (11)				1904 (37)	○	○	
1879 (12)	○	○		1905 (38)	○	○	
1880 (13)	○			1906 (39)	○	○	
1881 (14)	○		○	1907 (40)	○	○	
1882 (15)			○	— } —	○	○	
1883 (16)					○	○	
1884 (17)				1942 (昭17)	○	○	
1885 (18)				1943 (18)	発	○	
1886 (19)		○	○	1944 (19)	行	○	
1887 (20)	○	○	○	1945 (20)	な	○	
1888 (21)		○	○	1946 (21)	し		
1889 (22)	○	○	○	1947 (22)	○	○	
1890 (23)		○	○	1948 (23)	○		
1891 (24)	○	○	○	1949 (24)	○	○	
1892 (25)	○	○	○	1950 (25)	○		
1893 (26)	○	○	○	1951 (26)	○	○	
1894 (27)	発行なし		○	1952 (27)	○	○	
1895 (28)			○	1953 (28)	○	○	
1896 (29)		○	○	— } —	○	○	
1897 (30)		○	○		○	○	
1898 (31)		○	○	2002 (平14)	○	○	

注1 ○印は当館が所蔵しているもので、空欄は、発行なし、欠号又は不明である。年次は主に統計内容の年次を示す。なお、タイトル年と内容の年が異なることがある。

2 『勸業統計報告』は、第1回（内容は明治14年分）から第20回まで発刊され、以降は『統計書』に統合されるが、第3回が欠号である。

3 『京都府統計史料集』に掲載の表に、その後所蔵に加えた分を加筆した。

の各種統計を駆使し、その変遷を人口、農林水産、金融、物価等の項目で時系列的にまとめた史料集となっていますので併せてご利用ください。

別表に統計書等所蔵一覧を添付しました。

レファレンスから

○福助人形の由来を知りたい。

福助人形は、江戸時代に実在した京都の呉服屋、大文字屋の主人がモデルとされています。この主人は頭が大変大きく商売上手だったため、その姿を模した人形が生まれたと言われています。



▲福助人形（伏見人形）
当館蔵（京都文化博物館管理） 冊コレクションから

この姿にはいろいろな意味が込められていて、袴を着ているのは上下の分け隔てない商いを表し、耳が大きいのは金持ちの象徴である福耳を表しています。

【参考文献】

『京の宝づくし縁起物』（K0-387-192）

○明治時代初めに伏見と山科との間を通っていた、国鉄の線路のことについて知りたい。

明治3年に政府が、京都から敦賀と大阪を結ぶ鉄道建設の建言を受け、まず明治10年に京都・神戸間が開通しました。その後京都・大津間は西南戦争のため計画が遅れ、明治12年に伏見（駅名は稻荷駅）・山科間を含む京都・大谷間が、明治13年に京都・大津間全線が開通しました。そのうち稲荷・山科間は東山トンネルの開通による山科駅の移動に伴い大正10年に廃止されました。

【参考文献】

『日本国有鉄道百年史』（M-686-N71）

○秀吉が再興した施薬院がどこにあったのか知りたい。

施薬院は聖徳太子が四天王寺に併設したのが始まりですが、戦国時代には廃絶していました。天下を統一した豊臣秀吉は施薬院を復興することに決め、施薬院全宗を長官に任じました。彼は烏丸通りの中立売御門の北側に施薬院を建て、市民に無料で薬物供与などを行いました。その後施薬院は江戸時代の終わりまで続いています。

【参考文献】

『京の医史跡探訪』（K1-490. 21-Su47）

○花札に鷹ヶ峰をモチーフにした札があると聞いたが、その札はどれか。

花札の「ススキの上に出ている満月」が鷹ヶ峰の山をモデルにしています。

【参考文献】

『北区歩くマップ』（K112-291. 62-Ki65）

○昭和20年に京都市への空襲があったらしいが、その場所はどこか。

昭和20年の京都市への空襲は全部で3回あり、場所は東山区馬町、西陣と太秦です。

馬町は1月16日午後11時ごろにあり、死者41名、負傷者48名を出しました。この空襲が京都空襲の始まりであり、軍は民心動揺を警戒して厳しい情報統制を敷いています。

西陣の空襲は6月26日午前9時ごろにあり、死者50名を出しました。この地域の被害が京都市でもっとも大きく、約400平方メートルの範囲が被災しています。

太秦には4月16日正午頃に三菱重工の工員など死者2名、負傷者48名を出しました。



▲昭和20年1月18日京都新聞

【参考文献】

『語り伝える京都の戦争 2 京都空襲』

(K0-369. 37-Ku99)

『かくされた空襲と原爆』（K0-369. 37-Ko12）

『かくされていた空襲』（K0-369. 37-Ky6）

吉井勇資料 勇と「紅聲窩」

当館所蔵の吉井勇資料は総数4,452点あり、勇の短歌や小説、戯曲、随筆などの原稿をはじめ、親交のあった谷崎潤一郎や上村松園、湯川秀樹など広範な人達からの手紙も含まれています。

今回は、その中から、中島棕隠そういん作「紅聲窩」の額に関わる資料をご紹介します。

流離の歌人ともいわれた吉井勇が、高知県猪野いのの隠棲地から京都へ居を移したのは、昭和13年10月、彼が53歳の時でした。その後、一時疎開のため京都を離れることはありましたが、京都での転居を繰り返して、最後の住処となった左京区浄土寺石橋町（のちに銀閣寺前町と改められる。）に落ち着き、昭和35年に亡くなるまでの二十数年の間、京都に住み続けました。

この銀閣寺に近い、大文字を目の前に見る住まいは、ようやく京都を永住の地にしようと思っていたときに得られた家で、勇にとってはかなり大きな喜びだったようです。

ここに移って間もなく、勇は四条通りにある骨とう屋で、中島棕隠の書いた「紅聲窩」という3字の額を見つけました。店の主人は、これは四国の旧家から出たもので「天保庚子冬十一月月軒書」としてあるところを見ると、棕隠61歳の時に書いたものらしいと説明されたそうです。



▲「紅聲窩」の額(吉井勇資料4058)

中島棕隠は、安永8(1779)年に京都に生まれた儒学者、漢詩人で、遊蕩と風流を好んだ文化人でしたが、汚名を蒙り市井詩人として各地を転々としたのち帰洛し、安政2(1855)年に没した人物です。勇が中島棕隠を知ったのは大正4年のことで、『祇園歌集』を上梓した時、その本の装丁をした竹久夢二が、これと同じような境地を漢詩の形式で詠じたものがあると貸してく

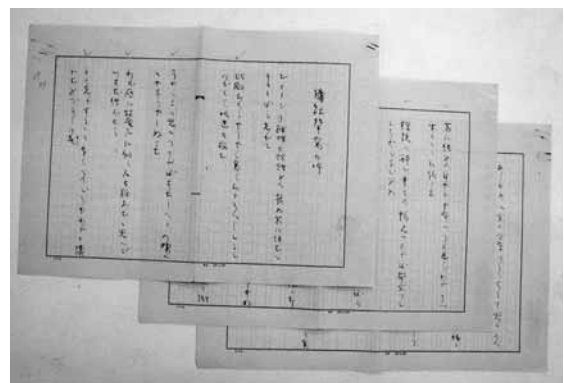
れたのが、中島棕隠作の『鴨東四時雑詞』おうとうしいじざっしでした。勇は自分とどこか重なる人生を送った棕隠に惹かれ、好きな詩人の一人となりました。

このような因縁も加わり、勇は玄関正面にこの額を掛け、この家を「紅聲窩」と名付けました。

また「紅聲窩」という語を冠した作品も多くみられ、「紅聲窩小吟」と題された原稿も残されています。



▲「紅聲窩」表札(吉井勇資料4450)



▲「紅聲窩小吟」の原稿(吉井勇資料2172)

この原稿の15首のうち10首は、昭和31年の作品として『定本吉井勇全集』に収録されています。その中から、2首を紹介しておきます。

棕隠の酔ひ書きの幅見てあれば

苛立つころ少しなごみぬ

京に住みてはや二十年いつか過ぐ

われの一生もここに終らむ

「棕隠の額」と題する原稿(吉井勇資料2221)の末尾に、「私はいつも玄関の楣間に掲げた『紅聲窩』といふ額を見るごとに、これは棕隠が私のためにわざわざ書き残して置いてくれたもののやうに思はれてならないのである。」と記しています。勇の棕隠に対する思いの一端を、ここからも感じることができます。

❖❖❖❖❖❖ 最近の収集資料から(平成16年3月～5月) ❖❖❖❖❖❖

◆図書資料

〈京都〉

京町家づくり千年の知恵 「間口三間」を生かす独自のこしらえ 山本茂著 祥伝社 2003 252p 購入

上賀茂神社 賀茂別雷神社 建内光儀著 学生社 2003 237p 購入

平等院庭園保存整備報告書 史跡及び名勝 宇治市歴史資料館編 2003 150p 寄贈

漆の美中村宗哲家の歴代 意を匠み、技を重ねる 中村宗哲著 淡交社 2003 127p 購入

織ひとすじ千年の技 西陣織兄弟、二百歳の志 山口伊太郎・山口安次郎著 祥伝社 2003 244p 購入

「植治の庭」を歩いてみませんか 洛翠庭園・無鄰菴庭園 十一代小川治兵衛監修 白川書院 2004 102p 購入

草木寫生 玉輪著 [18--] 1冊 購入

袖中寫帖 玉輪著 [18--] 1冊 購入



京都洛北やすらい祭 フィールドワークからのアプローチ 立命館大学産業社会学部2002年度 高木正朗ゼミ編刊 2003 144p 寄贈

京都市動物園100年のあゆみ 京都市動物園100周年記念誌 京都市動物園編刊 2003 140p 寄贈

元勲・近代諸家書簡集成 宮津市立前尾記念文庫所蔵 仏教大学近代書簡研究会編 思文閣 2004 599,3, 図16p 寄贈

愛宕山と愛宕詣り 八木徹監修 鶴飼均編著 京都愛宕研究会 2003 145,6p 取得

ゆらがわ 由良川とともに生きる 写真集 国土交通省近畿地方整備局福知山河川国道事務所編刊 2003 74p 寄贈

日本の町並み調査報告書集成 9 村上訶一他 編集委員 東洋書林 2003 583p 寄贈

〈人文〉

千利休の文 茶の湯の道 小田榮一編 求龍堂 2001 188p 寄贈

東山御文庫御物 全5巻 皇室の至宝 毎日新聞社「至宝」委員会事務局編 1999-2002 寄贈

蝶千種 2冊 神坂雪佳著 芸艸堂 2003 寄贈

滑稽図案 神坂雪佳著 芸艸堂 2003 1冊 寄贈

源氏模様 桂友同机会筆 芸艸堂 1993 図60枚 寄贈

装幀図案集 津田清楓著 芸艸堂 1974 17p 図31枚 寄贈

印籠一印籠美術館コレクション 荒川浩和監修 マリア書房 1991 209p 寄贈

調度品図譜 竹内秀峰著 マリア書房 1980 図30枚 寄贈

明治の大家扇面絵 林俊光編著 マリア書房 1971 図60枚 寄贈

茶壺 2冊(解説編、図録編) 徳川義宣著 淡交社 1982 寄贈

助広大鑑 数田政治・森口隆次著 光村推古書院 1980 47,358p 寄贈

丸山応挙<写生画>創造への挑戦 特別展 丸山応挙画 毎日新聞社 2003 291p 寄贈

田原桂一写真集 Tahara Keiichi 1973-1983 田原桂一著 ゴローインターナショナルプレス 1984 1冊 購入

歌舞伎座 歌舞伎四百年記念 吉田千秋写真集 吉田千秋・松竹株式会社著 永山武臣監修 朝日新聞社 2003 303,8p 購入

神と仏のいる風景 国立歴史民俗博物館編 山川出版 2003 193p 購入

中世東寺領荘園の支配と在地 辰田芳雄著 校倉書房 2003 484p 取得

大和の古墳 1 奈良県立橿原考古学研究所監修 近畿日本鉄道 2003 183p 購入

考古資料大観 6 小学館 2003 368p 取得

考古学に学ぶ 2 松藤和人編 同志社大学考古学シリーズ刊行会 2003 904p 寄贈

中之島百年一大阪府立図書館のあゆみ 『中之島百年一大阪府立図書館のあゆみ』編集委員会編 2004 385, 90p 寄贈

写真著作権 写真家・著作権継承者・海外写真家団体一覧 日本写真家協会監修 日本写真家ユニオン編集 草の根出版会 2003 150, 64p 寄贈

漢籍目録を読む 井波陵一編 京都大學人文科学研究所附屬漢字情報センター 2004 152p 寄贈

〈官庁〉

京都市男女共同参画推進条例 京都市文化市民局男女共同参画推進課編 2004 1冊 寄贈

京都市介護サービス評価事業・結果一覧 京都市保健福祉局長寿社会部介護保険課編 2003 371p 寄贈

出入国管理 平成15年版 法務省入国管理局編 2003 229p 購入

介護給付費実態調査報告 平成13年5月審査分～平成14年4月審査分 厚生労働省大臣官房統計情報部編 厚生統計協会 2003 233p 購入

21世紀出生児縦断調査 第1回(平成13年度) 厚生労働省大臣官房統計情報部編 2003 390p 購入

首都圏整備計画 平成13年度～平成17年度首都圏における主要プロジェクトの概要 国土交通省編 2003 157p 購入

科学技術政策レポート 科学技術基本計画に基づく科学技術政策の進捗状況 2003 内閣府編 2003 155p 購入

土砂災害警戒箇所点検マップ 京都府土木建築部砂防課編 2003 50枚 取得

第3回古文書解読講座のご案内

11月中旬から次の日程で開催する予定です。

9月上旬から受講申込みを受け付ける予定ですので、ホームページ、ポスター、チラシ等でご確認の上、お申し込みください。

初心者 Aコース 11月16日(火)～19日(金)
(各30人) Bコース 11月16日(火)、
11月24日(水)～26日(金)

※11月16日(火)はA・Bコース合同です。

一般 Aコース 11月30日(火)～12月3日(金)
(各80人) Bコース 12月14日(火)～17日(金)

※いずれも13:30～16:00 資料館2階会議室

※テキスト代2,000円と郵送料が必要です。

展覧会開催のお知らせ

当館では、7月から年内にかけて、次のとおり展覧会を開催する予定です。

会場は、いずれも2階展示室で、入場無料です。是非ご観覧ください。

□総合資料館収蔵品展

普段ご覧いただく機会が少ない館の収蔵品を展示公開します。

会期 7月16日(金)～8月31日(火)

(7月19日(祝)、8月11日(水)は休館)

- 内容
- ・「旅」をテーマに(図書資料)
 - ・「幕末京都の事件と記録」(古文書)
 - ・「日露戦争関係資料」(行政文書)
 - ・「吉井勇資料」(近代文学資料)

□第19回東寺百合文書展「足利義満と東寺」

会期 10月1日(金)～10月31日(日)【予定】
(10月11日(祝)、10月13日(水)は休館)

内容 室町幕府の第三代将軍で、権力者として史上特異な光芒を放った足利義満の足跡を、東寺に残る文書によりたどります。

総合資料館府民講座のお知らせ

◇9月16日(木) 午後2時～

冷泉為人氏(冷泉家第25代当主、(財)冷泉家時雨亭文庫理事長)

演題「冷泉家の歴史と文化」

受講ご希望の方は、受講希望日、住所、氏名、電話番号を明記し、3日前までに、はがき、FAX又はメールでお申し込みください。

*満席で受講をお断りする場合があります。

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-4

京都府立総合資料館 庶務課

TEL 075-723-4831 FAX 075-791-9466

メール shiryokan-shomu@mail.pref.kyoto.jp

友の会事務局から

◎ 平成16年度の友の会会員は、6月1日現在で336人となりました。

性別	継続	新規	計
男性	174人(51.8%)	19人(5.7%)	193人(57.4%)
女性	132人(39.3%)	11人(3.3%)	143人(42.6%)
計	306人(91.1%)	30人(8.9%)	336人(100%)

◎ 平成16年度の役員会を、5月20日(木)に開催しました。この役員会で、平成16年度の事業計画が、次のとおり決定されました。

- ・現地講座（今年度は、友の会発足40周年を記念して、恒例の春期のほか秋期にも開催します。）
- ・見学会（秋期）
- ・総合資料館府民講座（総合資料館と共催）
- ・「東寺百合文書展」及び企画展の列品解説
- ・古文書解読講座の案内及びテキスト送料の補助
- ・「総合資料館だより」の頒布（年4回）
- ・京都文化博物館及び池大雅美術館の入館料割引

◎ 6月4日(金)、122人の会員の皆さんの参加を得て、天龍寺（京都市右京区）において春の現地講座を実施しました。

法堂でお話をいただき、平成の雲龍図を見学した後、本堂・庭園を自由に見学しました。

天気にも恵まれ、初夏の嵐山が眩しい一日でした。



◎ 随時申込みを受け付けています。多数の方の入会をお待ちしております。

問合せ先：友の会事務局

（当館庶務課内 TEL 075-723-4831）

古文書相談のご案内

○古文書の内容や解読についての相談

郵送による事前申込。申込方法の詳細については、次へお問合せください。

問合せ先：当館歴史資料課 TEL 075-723-4834

当館3階のマルチメディアコーナーでは、パソコン等の持込使用ができ、電源コンセントも用意しています。

また、無線LAN機能付きのパソコン（Windows Me/2000/XP又はMacOSX10.2対応）をお持ちになれば、公衆無線によるインターネットを無料にご利用いただけます。閲覧室受付で、アカウント（IPアドレス、ユーザー名、パスワード）を入手のうえ、ご利用ください。

その他、当コーナーには、貴重書や古写真等のデジタル画像を閲覧できる機器も設置しています。（古写真等の閲覧機器は、文書閲覧室にもあります。）

日誌（平成16年3月～5月）

- 3.12(金)～4.11(日) 収藏品展開催
- 3.23(火) 第166回古文書相談開催
- 3.25(木) 府民講座(第17回)「東寺百合文書翻刻出版記念シンポジウム」開催
東寺百合文書翻刻史料集第1巻刊行
- 3.30(火) 第167回古文書相談開催
- 4.1(木) 「所蔵資料データベース—京都北山アーカイブズ—」公開開始
- 4.12(月)～23(金) 所蔵資料点検・整理等のため
臨時休館
- 5.26(水)～28(金) 収蔵展示室の一般公開
- 5.27(木) 府民講座(第18回)開催

利用案内

休館日 祝日(日曜日の場合は、その翌日)、
毎月第2水曜日、資料整理期(春期)、
年末年始(12月28日～1月4日)

【7月～9月の休館日】

7月14日(水)、7月19日(祝)、8月11日(水)、
9月8日(水)、9月20日(祝)、9月23日(祝)

開館時間 午前9時～午後4時30分

交通 京都市地下鉄烏丸線・北山駅下車
市バス④ ⑧ 北山駅前下車
京都バス②⑧ ④⑤ ④⑥ 前萩町下車

ホームページ <http://www.pref.kyoto.jp/shiryokan/>

発行 京都府立総合資料館
京都府立総合資料館友の会(振替 01030-2-11991)

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1の4
TEL(075)723-4831 FAX(075)791-9466

○本誌に関するご意見・ご感想などを当館庶務課までお寄せください。



古紙配合率100%再生紙を使用しています